

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2017年5月発行

5月といえば「こいのぼり」。子どもの頃、大きなこいのぼりを飾っているお家がうらやましかったのを思い出します。こどもの日について、国民の祝日に関する法律には「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。」とされています。母に感謝するという趣旨も含まれているのをご存知でしたか？
今月はもりあは、薫風をはらんだこいのぼりのように元気いっぱいがんばります。

平成28年度デートDV予防教育出前講座 アンケート結果をまとめました！！

市では、平成27年3月に策定した「男女共同参画プランよっかいち2015～2020」に沿って、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みを行っており、そのなかで、性別による差別・偏見の解消とともに、DV・デートDVをはじめとする「あらゆる暴力を許さない」意識の啓発を行っています。

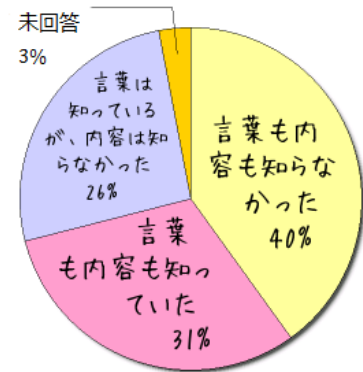
若い人たちに向けては、DV・デートDVの被害者や加害者にならないよう、また、次の世代へ暴力が連鎖しないよう、お互いを尊重し合えるような**対等な関係**を築くことの大切さを理解してもらうため、「**デートDV予防教育出前講座**」を実施しています。

平成28年度に出前講座を実施した学校（中学校：6校、高校：2校、大学：1校）の生徒2,562人からいただいたアンケートの結果を報告します。

●「デートDV」の認知度について

「デートDVについて知っていたか」との問いには、「言葉も内容も知っていた」は約**31%**、「言葉は知っているが、内容は知らなかった」は約**26%**、「言葉も内容も知らなかった」は約**40%**となりました。（右図）

【デートDVについて知っていたか】



●固定的役割分担意識について

「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方に賛成か反対かの問いには、「賛成・どちらかと言えば賛成」は約**18%**、「反対・どちらかと言えば反対」は約**42%**となりました。

●「あらゆる暴力を許さない」社会の実現に向け、更なる啓発が必要！

「デートDV」という言葉については、約57%の方が知っていましたが、その内容については、約66%の方が知らないことから、今後も継続して啓発していく必要があると考えます。「デートDV」をより多くの方に知ってもらい、若い人たちが被害者にも加害者にもならないように、「あらゆる暴力を許さない」社会の実現を目指して、取り組みを進めていきます。

●DV（ドメスティック・バイオレンス）ってなに？

配偶者や恋人など、親密な関係の間で起こる**暴力**のことで、殴る・蹴る等の「**身体的暴力**」に加えて、大声でどなる等の「**精神的暴力**」、お金を出させて返さない等の「**経済的暴力**」、友人などとの付き合いを制限する等の「**社会的暴力**」、避妊に協力しない等の「**性的暴力**」などがあります。

●デートDVってなに？

交際中のパートナー間にかかる**DV**（DVの詳細は左参照）のことです。誰にでも起こりうるものなので、注意が必要です。

事業報告 第2回 登録グループのつどい 開催しました!

平成 29 年 3 月 4 日 (土) 14:00~16:00、登録グループのつどいを行いました。初めに、はもりあフェスタの実施報告やグループ登録要件の変更について説明等が行われました。



【会場の様子】

その後、NPO法人四日市男女共同参画研究所代表理事の坂倉加代子さんによる男女共同参画研修では、『男女共同参画センター』は何をするところなのか、どのようにつくられたのか」をテーマに、女性課が誕生した背景や取り組まれてきたこと等をお話いただき、センターの原点を振り返りました。

その後、男女共同参画をテーマに、参加された40名(29団体の登録グループ)が、それぞれ意見交換を行いました。アンケートからは、「様々な方と意見交換できて良かった」、「男女共同参画の本質がわかった」等のご意見をいただきました。今後も市民グループの皆様とともに、男女共同参画を推進していきます。



【講師；
坂倉加代子さん】

事業報告

さんかくカレッジ2016を開催しました

父と子のさんかくカレッジ第3弾

3月25日(土)、父と子のさんかくカレッジ第3弾として「カメラ講座」を開催しました。

前半は、子どもや妊婦さんの写真を多く手掛けている写真家の福本由紀さんを講師に迎え、子どもの笑顔を撮るためのコツを教えてくださいました。

この講座に参加されたお父さんは、ほとんどが1歳未満の子どもがいらっしゃる方で、これから写真を撮る機会が増えることもあり、熱心にお話を聞いていました。

後半は、早速、実践すべくカメラを片手に撮影開始。子どもの目線と同じにするよう、姿勢を低くして写真を撮っていました。また、絵本の読み聞かせを「はもりあ」登録グループで講座を企画されたパパスマイル四日市のメンバーにさせていただき、終始なごやかな雰囲気の中で講座が行われました。

写真の良し悪しは、「構図」にかかっている!写真は、「感度」×「シャッタースピード」×「絞り」で決まる!が、講師からのアドバイスです。



【講座の様子】

春休みこどもさんかくカレッジ

3月31日(金)、春休みこどもさんかくカレッジとして、「キッズヨガ教室」を開催しました。

未就学児対象の親子ヨガと小学生対象のこどもヨガの2部制に分かれ、楽ヨガ講師の伊藤爾己枝さんのご指導で、ヨガに挑戦しました。

2クラス合同の「ちょこっとさんかく教室」では、子どもにもわかりやすいO×クイズ形式で行われ、子どもたちは、積極的に手をあげてくれました。

親子ヨガ教室に参加のお母さんからは「託児もあって、今日は久しぶりに上の子とゆっくりできて良かったです」、こどもヨガ教室に参加の子どもたちからは「もっとやりたい!」「またやりたい!」とうれしい声をいただきました。



【親子ヨガ】

【こどもヨガ】



心身ともに、リフレッシュしていただけたかな?

相談室 から

あらゆる暴力を許さない力を育てるために 男女平等教育、デートDV予防教育の出前講座をしています。

平成23年度から始まった出前講座も、今年で7年目となります。
ジェンダーの視点を学び、「ありのままの自分」や「他者」を受容し、表現することや、多様な生き方を尊重できる力を育むことを目的として、保育・幼稚園児、小学生を対象に男女平等教育を、中学生、高校生、大学生を対象としてデートDV予防教育の出前講座を実施しています。（平成28年度の出前講座を受講された生徒・学生のアンケート結果は表紙参照）
これからも、あらゆる世代で「暴力を許さない力」を学ぶ機会を広げていきたいと思ひます。

平成28年度出前講座報告

講師は、
★保育園・幼稚園・小学校は、四日市人権擁護委員協議会（会長：上野尚子さん）の皆さん
★中学校・高校・大学は、デートDV防止講座の認定ファシリテーターや県内の支援活動団体スタッフ
★受講対象に合わせて、NPO法人SEAN（シーン）理事の中村彰さんなど多彩な方々をお迎えしました。

実施校・園・他	数	講座数	受講人数
大学	1校	1	121
高校	2校	4	1,132
中学校	6校	6	1,309
小学校	13校	38	1,140
幼稚園	7園	7	469
保育園	9園	9	503
保護者・教員	5カ所	6	251
	43	71	4,925



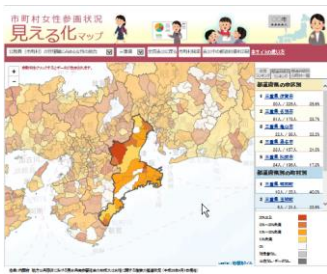
今月のキーワード

市町村女性参画状況 見える化マップ

今年の3月31日に、内閣府男女共同参画局がホームページで「市町村女性参画状況見える化マップ」を開設しました。これは、全国の市町村別の女性の参画状況（公務員の管理職や市町村議会議員に占める女性の割合等）や、男性公務員の育児休業取得率等について地図上から見るすることができます。

各市町村が互いに参画状況を知り、ランキングも意識し合うことにより、さらに取り組みが進められるという相乗効果が見込めるとともに、住民や企業が地域の女性の参画推進の様子を知ること、男女共同参画意識の向上や企業の女性登用を促すことにもつながります。

さて、四日市市はというと、全国どこもか三重県下においても、まだまだ頑張らないといけない位置にいます。まずは三重県下でトップを取れるよう、今まで以上に組み込んでいきたいと思ひます。



男女共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

家族が単身赴任や進学で一人また一人と家を出ていき、この4月から私（51歳女性）は人生初の一人暮らしを始めました。そこで、改めて子どもが生まれた頃のことを振り返ってみました。

当時の私は、育児は私がしなければという気負いもあり、夫に育児への参加をうまく求められませんでした。そのため、子どもと二人きりで家にいると、私は「お母さん」という存在になってしまっただけで「私」という個人はいなくなってしまうのではと不安になりました。まだイクメンなどという言葉もない時代、夫もどのように育児に関わればいいのか迷っていたのでしよう。今思えば、もっとはっきりこうしてほしいと言えばよかったのかなと思ひます。

子どもに手がかからなくなってみて「お母さん」ではない「私」がいることは大切だなと感じます。さらに、子育てに奮闘した思い出をパートナーと共有できれば素敵ですね。残念ながら私の場合、共有できる思い出がやや少ないかも・・・。

【気が付くと半世紀以上生きてしまっていた担当 :T】

新しく入りました



はもりあ四日市の「図書コーナー」に新しく入った本をご案内します。図書コーナーには、男女共同参画に関するたくさんの本がそろっています。ぜひ、お手にとって読んでみてください。新刊は2週間、それ以外は1カ月間、貸出しできます。



話題になったあのドラマの原作本！
【逃げるは恥だが役に立つ(全巻)】
 海野つなみ/作 講談社

お父さんだって子育てしたい
【「パパ権」宣言！】
 川端裕人+岸裕司+汐見稔幸/著
 大月書店



「どうぞ」は、やさしい心の合言葉
【どうぞのいす】
 香山美子/作・柿本幸造/絵
 ひさかたチャイルド



こころの病を抱える親が、子どもをサポートする方法を見つける
【子どもにどうしてあげればいい?】
 トウッティ・ソランタウス/著、上野里絵/ 訳
 アントニア・リングボム/ イラスト 東京大学出版会

アラフォー/非正規/シングル/子どもなし
 気がつけば、崖っぷち
【ルポ貧困女子】 飯島裕子/著 岩波新書

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は **はあく**

さんです。

代表者 上野尚子

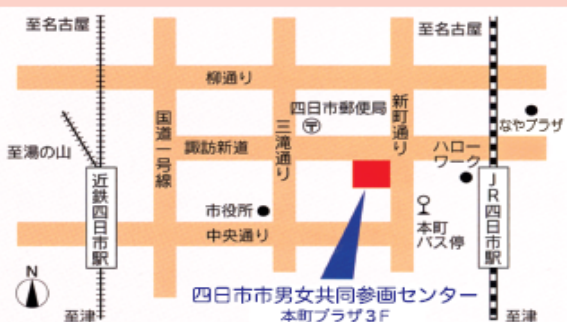
連絡先 090-4189-0334

はもりあ四日市主催ジェンダー平等教育・デートDV予防教育指導者養成講座の修了生で、「誰もがありのままを認められ、尊重される社会」の実現をめざして、幼稚園、保育園、小・中学校・高等学校等で、男女平等、デートDV予防、ジェンダーと暴力等をテーマとする人権教育を推進しています。多くの場で出前授業を実施したいと思っています！「はあく」というグループ名は、抱きしめたいという意味の「ハグ」とはーと あんどグッドの頭文字からとった造語で、すべての人にお互いの違いを認め合い、尊重できる心よい関係を築いてほしいという願いがこめられています。



◎◎◎あとかき◎◎◎

新年度が始まって1カ月が過ぎ、新緑がまぶしい季節になりました。早いもので、私が勤務させていただいてから6年が過ぎ、その間に職員の転勤があり、4月からは4人目の所長を迎えました。新所長のもと、勤続7年目、初心を忘れず、一瞬一瞬の出会いを大切に勤めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml